

# 令和5年度 事業報告書

令和5年度は、心豊かに文化芸術を楽しんでもらうため、子どもを対象とした事業の充実、気軽に文化芸術に触れてもらう場の提供、及び文化芸術活動の支援に重点を置き、文化芸術に親しむきっかけづくり、市民の文化芸術活動の支援、情報発信事業の推進の3つの柱で下記のとおり事業を展開した。

## 第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 (決算額 6,514千円)                      参加者:66校 / 6,786人

### 小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」

子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力を伝える事業として小学校に国内外で活躍しているアーティストを派遣し、音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化の体験型プログラムを実施した。

#### 【音楽】

内 容：室内楽アンサンブル、マリンバ

アーティスト：九州交響楽団、CiLi

実施校：17校

実施学年：小学1年～6年生

参加者：2,137人

#### 【ダンス】

内 容：オリジナルダンス作り

アーティスト：真崎千佳、山本泰輔 他

実施校：5校

実施学年：小学3・4年生

参加者：408人

#### 【演劇】

内 容：演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ

アーティスト：有門正太郎

実施校：3校

実施学年：小学3・5年生

参加者：207人

#### 【日本伝統文化】

内 容：能、狂言、箏、筑前琵琶

アーティスト：福岡市能楽協議会、箏曲鶯絃会、尾方蝶嘉ほか

実施校：19校

実施学年：小学1年～6年生

参加者：1,242人

#### 【国際文化】

内 容：韓国伝統芸能、馬頭琴、西アフリカ伝統芸能

アーティスト：韓ソリ、ドラム馬頭琴楽団、劇団アフリカ

実施校：22校

実施学年：小学1年～6年生

参加者：2,792人

## (2) 伝統芸能事業（決算額 910 千円）

参加者・来場者:238 人

伝統文化・伝承文化に対する幅広い層の市民の関心と理解を深める機会を創出し、その継承・普及につなげることを目的とした事業を実施した。

### ① 住吉神社能楽殿こけらおとし

リニューアルされた住吉能楽殿において、九州交響楽団によるクラシックのコンサートを開催した。

- 公演名 能楽殿でクラシック
- 開催日 令和5年10月28日(土)
- 会場 住吉神社能楽殿
- 出演 九州交響楽団
- 来場者 180人

### ② 能楽てらこや

住吉神社能楽殿において、能の楽しみ方を学ぶとともに、小鼓や笛などを体験することができるワークショップを開催した。

- 開催日 令和6年1月13日(土)、2月3日(土)
- 会場 住吉神社能楽殿
- 講師 福岡市能楽協議会
- 参加者 58人

## (3) 社会参加促進事業（決算額 1,234千円）

参加者:351人

年齢や障がいの有無、性別や国籍に関わらず、誰もが文化芸術に触れ、親しむ機会を創出し、文化芸術活動を通じて社会の新しい関係性を築くことを目的とした事業を実施した。

### ① リレートーク「アートとのいろいろな関わり方」

様々な形で「アート」と関わっている方をゲストに迎え、「アート」を身近に感じることができるリレー形式のトークイベントを開催した。

- 開催日 令和5年9月2日(土)
- 会場 福岡市美術館 ミュージアムホール
- 登壇者 大澤寅雄氏、中込潤氏、白鳥建二氏 他
- 参加者 87人

### ② 「アートとのいろいろな関わり方」関連企画

#### ア 映画上映

全盲の美術鑑賞者である白鳥建二氏を題材としたドキュメント映画「目の見えない白鳥さんアートを見に行く」を上演した。

- 開催日 令和5年9月1日(金)、2日(土)
- 会場 福岡市美術館 ミュージアムホール
- 参加料 一般1,500円、高校生以下1,000円
- 参加者 100人

## イ 鑑賞会

白鳥建二氏とともに、福岡市美術館の作品を鑑賞する少人数での対話型鑑賞会を実施した。

- 開催日 令和5年9月1日(金)
- 会場 福岡市美術館
- 参加料 1,000円
- 参加者 5人

## ③ 特別支援学校アウトリーチ

### ア 音のかけはし

(公財)アクロス福岡とともに、マリンバのアーティストを特別支援学校に派遣して、鑑賞・体験のプログラムを実施した。

- アーティスト CiLi
- 実施校 4校(今津特別支援学校、元岡・南片江・壱岐南小学校支援学級)
- 参加者 117人

## イ 重度心身障がい児プログラム実施・報告会

令和3年度から3年間実施した、重い障がいにより大きな動きや声を出すことが難しい児童にメディアアートの様々な遊びを体験してもらう取組みについて、アーティスト、ケアスタッフ、研究者によるふり返りと報告を行った。

- 実施日 令和6年1月28日
- 参加者 42人

## (4) 博多旧市街にぎわい創出事業 (決算額 4,348千円) 実施回数:14回、来場者:2,513人

### アートカフェ事業

福岡アジア美術館と連携し、同館アートカフェにおいて、市民及び来場者が気軽に文化芸術に触れることができる場を創出するため、アジアをはじめとする様々な国の音楽・舞踊や九州交響楽団のミニコンサート等を実施した。

・モンゴル高原から生まれた二弦の楽器ーアジアの響きー	6月4日	230人
・インドネシアの伝統竹楽器ミニ演奏	7月22,23日	180人
・筑前琵琶と水の音-MIZUNONE-演奏&トーク	8月11日	100人
・プレミアムライブ「黄昏に奏でるアート」	9月16日	250人
・コンドルズが躍動する!FaN Funプロログ”Dance&Talk”	9月17日	130人
・コンドルズと創る!踊る!魅せる!FaN Funパフォーマンス	9月24日	85人
・世界39カ国を熱狂させた言葉を使わないコメディパフォーマンス	10月15日	150人
・外国人学生歓迎交流会	11月23日	55人
・くすみボタンで秋色ブローチをつくろう!	11月26日	147人
・あじび冬のこどもコンサート	12月9日	251人
・コンドルズと創る!踊る!魅せる!FaN Fun Epilogue+ゴスペルライブ	12月23日	85人
・古楽器で辿るシルクロード	1月21日	330人
・九響弦楽四重奏~シルクロードへの誘い~	2月12日	320人
・ヘリ・ドノ 《ワヤン桃太郎》上演	3月16日	200人

## (5) その他(協力事業)

### きびるフェス

NPO法人が主体となり、市内の音楽・演劇練習場の指定管理者とともに、舞台芸術に関わるすべての人へ向けてワークショップや演劇公演を実施する「きびるフェス」について広報及び運営の一部を支援した。

## 第2 市民の文化芸術活動の支援

### (1) 第60回福岡市民芸術祭 (決算額 4,290千円)

参加認定行事数:112行事

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れあう場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催した。

#### ① 参加行事

10月から12月にかけて市内の施設で実施される活動を参加行事として認定し、一体的な広報や市施設使用料減免等の支援を行った。

■開催期間:令和5年10月1日(日)~12月31日(日)

■参加認定行事:112行事

(内訳)音楽41、美術21、演劇13、ダンス6、伝統芸能4、文芸8、生活文化3、メディア芸術3、その他13

#### ② 主催事業

##### ア プレミアムライブ「黄昏に奏でるアート」 再掲

まちなかをアートで彩る市の FaN Week のオープニングに合わせて、福岡アジア美術館のアートカフェにおいて、音楽ライブを実施した。

■公演名 プレミアムライブ「黄昏に奏でるアート」

■開催日 令和5年9月16日(土)

■会場 福岡アジア美術館 アートカフェ

■出演者 baobab、Rue de Valse、九州大学軽音楽部ジャズ研究会

■来場者 250人

##### イ コンドルズと創る!踊る!魅せる!FaN Funパフォーマンス

FaN Weekの会場である福岡城エリアにおいて、公募で集まった市民とコンドルズがダンスを創作し、発表を行った。

#### i 公演

■公演名 コンドルズと創る!踊る!魅せる!FaN Funパフォーマンス

■開催日 令和5年9月24日(日)

■会場 福岡城址エリア、福岡アジア美術館あじびホール

■出演者 コンドルズ、公募で集まった市民17人

■来場者 455人

## ii 関連ワークショップ

- 企画名 コンドルズと創る!踊る!魅せる!FaN Funワークショップ
- 開催日 令和5年9月9,10,16,17,23日
- 会場 市内練習場
- 講師 コンドルズ
- 参加者 公募で集まった市民17人
- 参加料 一般5,000円、高校生以下3,000円

## (2) FFACステップアップ助成プログラム(決算額 6,607千円)

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人に対して、活動経費の一部を助成するとともに、専門アドバイザーによる助言・フォローアップや広報等の支援を行った。

### ① 助成概要

- 助成件数 21件(応募件数35件、採択件数21件)
- 分野内訳 「文化芸術普及活動助成」9件  
「発展活動助成」11件  
「文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)」1件
- 助成額 4,970千円

### ② 助成の種類

#### 【文化芸術普及活動助成】

市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供する活動に対して助成

#### 【発展活動助成】

申請者自らがさらなるステップアップを図る活動、または文化芸術分野の人材育成・環境整備に寄与する活動に対して助成

#### 【文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)】

団体自らのステップアップにとどまらず、文化芸術を通して様々な社会課題の解決に取り組むために、継続的・段階的な実施を必要とする活動に対して、最長2年間継続助成

### ③ 報告会

事業実施報告及び専門アドバイザーからのフィードバックや、参加者間での意見交換を実施した。

- 開催日 令和6年3月22日(金)
- 会場 アジア美術館会議室
- 参加者 採択事業の団体・個人、専門アドバイザー

### 第3 情報発信事業の推進

#### (1) 文化芸術資源収集活用事業 (決算額 39,664千円 ※美術品等購入費)

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

■購入件数及び総額: 28件 39,663,620円

■売却件数及び総額: 156件 14,510,773円

福岡市美術館

売却: 絵画「寒山拾得図」ほか 計 8点 (計 10,900,000円)

福岡アジア美術館

購入: 立体「駱駝」 計 1点 (計 38,500,000円)

福岡市博物館

購入: 古文書「黒田家中袖珍便覧」ほか 計 27点 (計 1,163,620円)

売却: 古文書「立花実山関係資料」ほか 計 148点 (計 3,610,773円)

#### (2) 文化芸術広報事業 (決算額 5,398千円)

##### 1. 文化情報発信事業

###### ① 財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、人・事・場所等の紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

■発行状況: 年2回(7月、11月)発行 20,000部

◎wa92・夏号

[Pick up Artist] 「水のアジア展」関連 日本画家 比佐水音さん

筑前琵琶奏者 尾方蝶嘉さん

[掲載内容] 福岡市民芸術祭関連、「コンドルズ」主宰 近藤 良平氏インタビュー

伝統芸能事業、社会参加促進事業のお知らせなど

◎wa93・秋号

[Pick up Artist] 銅板画家 難波 瑞穂氏

猫本専門書店 「書肆 吾輩堂」

[掲載内容] 財団事業レポート(福岡市民芸術祭メイン事業、社会参加促進事業など)

賛助会「わたすクラブ」活用レポート

イベントカレンダー(11~3月)

###### ② ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び「WEBアトリエ」(文化情報サイト)並びに「文化情報コーナーアトリエ」を運営し、情報収集と発信を行った。ホームページについては、スマートフォン等でも見やすいデザインにリニューアルを行った。また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報発信を行った。

[財団ホームページ] 訪問数:47,654件(3,971件/月)

[WEBアトリエ] 訪問数:10,508件(876件/月)

[メルマガ配信] 毎週木曜日発信 有効登録者数:1,805人

### **(3) 文化芸術普及事業（グッズ・叢書・三館支援）（決算額 21,057千円）**

福岡市美術館及び福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

#### 1. 主な売上

- ・金印グッズ（レプリカ、スタンプ、ストラップ ほか） 計 12,067点 8,204,354円
- ・刀剣グッズ（福岡市博物館オリジナル多機能ペン ほか） 計 13,787点 6,344,402円

#### 2. 令和5年度 新規販売グッズおよび売上

- ・御刀印帳
- ・御刀印（圧切長谷部・日本号・日光一文字の3種） 計 5,981点 2,506,800円

### **(4) 賛助会「wa+club（わたすクラブ）」事業（決算額 684千円）**

市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市の更なる文化芸術活動の振興を目的に、財団事業をはじめとする文化芸術のサポーターとして加入促進を図るとともに、会員特典の充実を図り、会の魅力向上に努めた。

#### 1. 会員数及び会費

- ・個人会員：322人 2,000円（全期）、1,500円（半期）
- ・法人会員：6団体・10口 30,000円/1口

#### 2. 会員特典

- ・福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付（年3回）
- ・会員対象イベントの実施
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等
- ・提携団体チケット優待（博多座、九州交響楽団、テレQ等）
- ・会員限定メールマガジンの配信

### **(5) 福岡音楽都市協議会（決算額 3,671千円）**

福岡を日本・アジアを代表する音楽都市にすることを目指し設立された福岡音楽都市協議会の事務局として、Webメディア「OTOJIRO」を通じた福岡の音楽関連情報の発信や「FUKUOKA STREET LIVE」等の実施によりまちの賑わい創出などに取り組んだ。